



これまで15万人の
子どもたちが体験！



守山市立中洲小学校5年生の作品



あつまれ！
つっこ！

岡本太郎 犬の植木鉢 1954年制作

土に託されたきらめき

子どもたち × アーティスト

セラミックス最先端展

2022 6/25(土) → 9/4(日)

[休館日] 毎週月曜日(7月18日(月・祝)は開館し、7月19日(火)振替休館)

[開館時間] 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

[入場料] 一般=500円(400円) 高大生=380円(300円) 中学生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金

[主催] 滋賀県立陶芸の森、世界にひとつの宝物づくり実行委員会、 京都新聞

[後援] 滋賀県教育委員会、甲賀市、守山市教育委員会、NHK 大津放送局、公益財団法人日本セラミックス協会

[協力] MIHO MUSEUM、滋賀次世代文化芸術センター、大塚オーミ陶業株式会社、京セラ株式会社、株式会社村田製作所、三喜ゴム株式会社信楽事業所

[協賛] 山田牧場

[助成] NOEVIR GREEN FOUNDATION



〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勸旨2188-7

TEL 0748-83-0909 FAX 0748-83-1193 WEB <https://www.sccp.jp>

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更もしくは、中止する場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。



宮本ルリ子 ネガイカナエタヌキ
2007年制作

写真はいずれも杉本賢正

コロナ禍でも、多くの学校で選ばれた土の活動！ さまざまな姿に形を変えることができる、魅力的な素材、土。



あの「太陽の塔」を手掛けた岡本太郎は、やわらかい土を感じながらつくるワクワク感を、「いま触れている土と、瞬間に湧き上がる情感が無条件にぶつかり合う」と記しました。

今年で20年目を迎える陶芸の森 つちっこプログラムでは、陶芸家の素早い手の動きや丁寧に土を整える指先など、子どもたちはプロの技、まさに“本物”に触れています。子どもたちは、土と自ら対話しながらひらめきを形にし、自分だけの作品に仕上げているのです。展覧会では、子どもたちの作品をはじめ授業に関わっている陶芸家や子どもたちの造形に注目するアーティストたちの土の魅力を生かした個性豊かな作品も、あわせて展示します。

セラミックスは、熱に強いなど多彩な特性が活かされ、あらゆる場面で私たちの暮らしを支えています。本展では、滋賀県内に工場をもつ企業にご協力をいただき、時代の求めに応え、新境地を切り拓く技術者たちのモノづくりにも焦点を当て、紹介します。

展示構成

シーン1 「土と向き合う きらめきの時 岡本太郎や陶芸家・アーティストたち」

岡本太郎、河井寛次郎、藤平伸、神山清子、川尻潤、岩村遠、大石早矢香

シーン2 「子どもたちと陶芸家との出会い～県内小中学校、高校」

参加学校：大津市立瀬田北小学校、瀬田東小学校、草津市立山田小学校、守山市立中洲小学校、吉身小学校、野洲市立中主中学校、彦根市立平田小学校、長浜市立湖北中学校、甲賀市立雲井小学校、MIHO美学院中等教育学校、淡海学園、県立膳所高校 他
陶芸家：北大路魯山人、笹山忠保、神崎継春、谷野明夫、梶なつ子、宮本ルリ子、橘功一郎、津守愛香、松本治幸、田中哲也、灘さとみ、木ノ戸久仁子、中田美穂、松波曜子、福岡佑梨、藤田真理乃、金丸美代子 他

シーン3 「20年の思い出～大人になった子どもたち～」

シーン4 「暮らしを支えるセラミックス～モノづくりの舞台裏にきらめきの瞬間」

大塚オーミ陶業株式会社、株式会社村田製作所、京セラ株式会社、三喜ゴム株式会社信楽事業所

①大津市立瀬田北小学校5年生の作品 ②草津市立山田小学校5年生の作品 ③パプアニューギニアの土器

次回展覧会

特別展 「静中動：韓国のスピリットをたどる一開かれた陶のアート」

会期＝2022年9月17日(土)～12月18日(日)

関連行事

陶芸の森 対話の森～土・信楽・アートと暮らしをめぐる対話～ 参加費無料・要申込

保坂健二郎(滋賀県立美術館ディレクター)×松井利夫(滋賀県立陶芸の森館長)

日時 8月27日(土) 14:00～15:30

場所 陶芸の森 信楽産業展示館信楽ホール

応募方法 電話、FAX、はがき、E-mailで

夏休み特別講座 つちっこプログラムの超人気メニューを体験！
「シーサーをつくろう！」

日時 8月7日(日)

場所 陶芸の森 信楽産業展示館 創作室

参加費 1,700円

講師 橘功一郎(陶芸家)

定員 各16人、午前・午後

応募方法 E-mailで午前か午後希望かを記入(詳細は陶芸の森HPをご覧ください)

ギャラリートーク(学芸員と出品陶芸家による展示解説) 申込不要・要入場券

日時 7月31日(日)・8月6日(土)・9月4日(日) 各日とも13:30～

きらめき展限定ガチャ登場!!

つちっこプログラムで講師を担当する陶芸家たちが、メッセージを込めた粘土アクセサリーをカプセルに詰めました。どれも違う模様と形で出ています。

地元企業協賛企画

信楽高原 山田牧場 POP UP SHOP オープン!

人気のチーズケーキや牛乳、ヨーグルトなど、自慢の生乳を使用した商品を陶芸館前にて販売。

開催日 会期中の土曜日、日曜日、祝日(雨天中止)

陶芸の森へのアクセス



公共交通機関

「JR草津駅」より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、
信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、
徒歩20分(約75分)
信楽高原鉄道「信楽駅」より
甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または
「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)

自動車

「新名神高速道路 信楽I.C.」から約8分
「駐車場(無料) 普通車 約250台/大型バス 約10台



津守愛香「こどもの絵のやきもの あくまたいてんし」(一部)2021年制作 作家蔵

大塚オーミ陶業株式会社



福岡佑梨「たねのゆめ」2022年制作 作家蔵